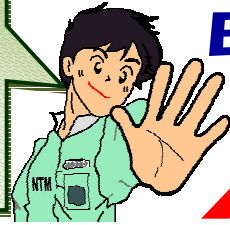


私たちは許さない!
日航の子会社つぶし



日東整争議を
勝たせる会
NEWS

No.012 2013.06.10
発行:日東整争議を勝たせる会
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
mail : honbu@kohkuren.org
TEL03-3742-3251 FAX03-5737-7819

原告は日航大西会長を証人申請

大西氏をはじめ証人全員採用を求める要請署名を全力で

5月30日14時から東京地裁民事36部にて第8回裁判(証人申請など弁論準備)が行われました。原告側からは日航の大西賢会長はじめ原告など6名を証人申請しました。私たちは、何としても大西会長をはじめとする証人採用をさせ、公平な判決を勝ち取る為に署名・宣伝など取り組み強化を決めました。大きなご支援をお願いします。

大西氏、整備統合の検討部署責任者

日本航空現会長の大西賢氏は、JAL・JAS 統合の2002年から2007年まで被告JALの整備本部企画室部長の地位に就いていました。整備企画室はJALの整備体制を構築する部署であり、将来にわたり整備をどのような体制(組織体制)で実施していくのかを決める部署です。整備企画室では、自社(JAL・JAS 本体)と子会社(JALTAM、JALNAM、JALJET、JAT、日東整など)の整備部門について、その再編を検討していましたが、大西氏はその検討部署の責任者でした。

2006年には日東整のみ排除へ

2006年度には、自社整備部門と整備子会社(JALTAM、JALNAM、JALJET、JAT)との統合再編の計画が打ち出されますが、日東整のみ「引き続きあり方を検討」するとして排除の方向へと動いてきたのです。

当初親会社JASからは日東整も整備グループ会社への統合が事業運営上合理的であると判断をしていましたが、日航はこれを覆し日東整を排除しました。大西氏はその組織責任者でした。

理不尽な日東整排除によるこの解雇裁判の真実を明らかにするためにはこの大西会長の証人採用は極めて重要です。

次回=第9回裁判(弁論準備)
8月23日(金) 11:00~
民事36部(13F)

不当労働行為立証の証人採用を

原告からの証人採用については、大西氏をはじめ6名を申請しました。長い間日東整労組で書記長を務めた野口幸博氏、会社の不当労働行為文書の入手について証言する元日航ユニオン書記長の坂井雄二氏、JALECの整備実態を証言する現日航ユニオン委員長の藤枝稔直氏、そして当該の泉聖二氏と佐藤二郎氏です。

この6名の証人尋問により、日東整が日本航空の整備体制の中でいかに重要な役割を担ってきたか、そして、日航経営がいかに日東整の労働者と労働組合を嫌悪し、不当労働行為を行ない、日東整排除をしてきたかを立証します。日東整排除の事実を社会的に明らかにすると共に、裁判勝利に向けての重要な取り組みです。ご協力をお願いします。

証人採用を求める緊急行動へのお願い

1. 証人全員採用を求める個人署名の取り組み

- 目標 1万筆
- 期間 8月11日まで
- 返送先 航空労組連絡会・日東整争議団
(住所等は本ニュース発行元参照)

2. 東京地裁前宣伝行動

- 月日 6月20日(木)、7月11日(木)
7月25日(木)、
8月01日(木)、8月15日(木)
- 時間 08時30分~09時30分